

遺伝性乳がんとは



遺伝子の変化が要因で発症するがんのことで、5~10%は遺伝的要因が影響して発症すると言われています。

遺伝子（BRCA1・BRCA2）に変異がある方は、乳がん・卵巣がんになるリスクが高くなります。

乳がん遺伝カウンセリング外来って？

Step1

家系図を作成し、遺伝性乳がんの可能性について検討

Step2

遺伝子検査について話し合い、結果をご本人・ご家族にどのように活用できるか説明

Step3

メリットとデメリットを確認し、ご本人の意志によって検査を受けるかどうか決定



遺伝子情報を得ることで、個人の体質に合った具体的な対策を考える事ができるようになります。

遺伝性乳がん・卵巣がん症候群 簡単チェックリスト

(どれか一つでも当てはまれば)

- 40歳未満で乳がんを発症した（家族を含む）
- 年齢を問わず卵巣がん（卵管がん、腹膜がん含む）を発症した（家族を含む）
- 原発乳がんを2個以上発症した（家族を含む）
- 男性で乳がんを発症した家族がいる
- 家族の中で乳がんを発症した人が3名以上いる
- トリプルネガティブの乳がんといわれた
- 家族の中に BRCA の遺伝子変異が確認された人がいる

